

第3回地域産業の担い手育成研修

— “食分野の地域資源の発掘～商品開発～ブランド化” を担う人材育成



受講生募集！

開催日

【第1回】2011年11月30日(水)～12月1日(木)

【第2回】2011年12月7日(水)～12月8日(木)

※1泊2日(2回シリーズ開催)

開催場所:山口県セミナーパーク(山口県山口市秋穂二島 1062)

本研修は、中国地域の中山間地域における企業と自治体・産業支援機関を対象として、産業(食分野)での次世代人材育成を目的として実施するものです。

研修プログラムは、地域資源発掘からブランド展開を指導する専門家、消費者視点によるブランド展開を指導する専門家、そして地域産業や人材育成に詳しい学術研究者の方をお招きし、中山間地域における企業家マインド・支援マインドの醸成、実践者による地域資源活用マーケティング講座など実践的なメニューを構成し、地域産業に携わる若手・中堅社員・職員の皆さまにとって、貴重な学びと出会いの機会をご提供いたします。

◇研修対象者:(募集人数:30名程度)

※担い手:中国地域における次世代の担い手として期待される社員

※支援人材:自治体の産業担当課・または産業支援機関における若手・中堅職員

※大学生:本研修のテーマに関心のある方

◇参加費:5,000円×2回分(宿泊費:1泊2食) ※シリーズ開催のため連続受講をお願いいたします。

◇応募方法:申込用紙に必要事項を明記の上、FAX/メールにて11月18日(金)までにお申し込みください。

主催 中国経済産業局 協力 山口県
事務局(委託先) 株式会社シーズ総合政策研究所

研修のおすすめポイント！

実践型講師が秘訣を伝授。実践現場で役に立つ実践ノウハウを演習を通じて修得！

食資源のプロデュースの成功プロセスを通じて実践的な資源活用のためのマーケティング・ノウハウを学びます。平成20-21年度を通じて、受講者満足度100%の中澤さかな講師の研修メソッドにより、「わが社・わがまち」で応用できる実践ノウハウをわかりやすく伝授します。

モデル素材の商品開発対象地域の食資源からモデル素材を設定。自らブラッシュアップ！

山口市周辺の食資源からモデル素材を設定し、受講者が講師指導とグループワークにより、商品開発・ブランド化を疑似体験することで、実感を伴った発想法や具体的手法を修得できます。

体系的に学べるプログラム～ブランド化と知財活用ポイントを体系的にプログラム化

<研修講師陣>

中澤さかな氏（山口県 道の駅 萩しーまーと）【地域資源発掘からブランド展開を指導する専門家】



(株)リクルートでの20年の勤務を経て2000年4月萩市に家族で1ターン。公設市場型ビジネスモデルとして自ら計画立案した「道の駅/萩しーまーと」の駅長を務める傍ら、萩市の持つ食資源の開発とプロモーションを実践。「萩の真ふぐ」「萩の金太郎」など、埋もれていた水産資源に着目、地域を上げたプロジェクトで特産品化に取り組んでいる。地域活性化伝道師(内閣官房)・地域力創造アドバイザー(総務省)・資源管理活用アドバイザー(水産庁)として、全国各地の水産資源活用案件にも参画している。

白田 典子氏（有限会社良品工房）【消費者視点によるブランド展開を指導する専門家】



大手広告代理店を経て、マーケティング会社で商品開発に携わる。1994年に(有)良品工房設立。流通の現場を体験することで消費者不在のものづくりを痛感し、2001年につくり手、売り手、買い手をつなげる“いいものプロジェクト”をスタート。地域の商品を販売しながら集めた消費者の声を届けようと、日本全国を駆け巡る。

大坪 素久氏（株式会社紀ノ国屋 商品部）【消費者視点によるブランド展開を指導する専門家】



1978年(株)紀ノ国屋に入社。鮮魚部門に配属。2年目から水産部門バイヤーに。以後現在まで、チーフ・店長を歴任しながら一貫して生鮮部門のバイヤーとして企画・開発に携わる一方で、島根県を始め、佐賀・和歌山・高知・北海道等の地域産品開発に携わる。

吉長 成恭氏（広島国際大学教授）【大学(栄養学、デザイン)の専門家】



広島国際大学心理科学部・感性デザイン学教育研究室。医学博士・商学修士・医師。研究テーマはヘルスケア・マーケティング、コミュニティ・ビジネス(CB)など。中山間地域におけるCBや、医学的知識をもとに五感に訴えるデザインやプロダクトの開発等幅広く携わる。

※講師は日程等の都合、已むを得ず変更になる場合がございます。予めご了承ください。

研修スケジュール

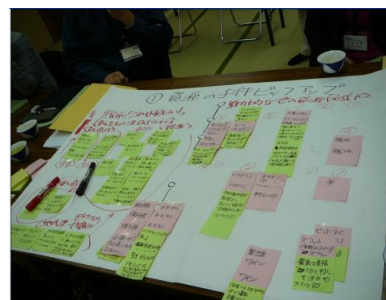
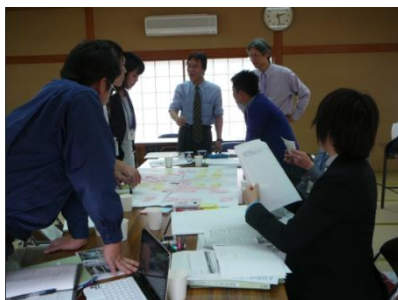
※スケジュールは変更する場合がございます。予めご了承ください。

【第1回】11月30日(水) <1日目>

時 間		日 程
13:00		受付開始
13:30	30分	開講式
14:00	60分	【リーダー直伝 実践マーケティング講座】① ・資源選定と情報収集 講師 中澤さかな氏（山口県萩シーマーと）
15:00	80分	グループワーク① 【モデル素材を活かした商品開発】 事前に調べてきたモデル素材情報のグループ内共有及び整理、取材の準備
16:20	10分	休憩
16:30	10分	ワーキングの進め方 講師 中澤さかな氏
16:40	80分	特別講義 【地域ブランド化とパテントビジネスの可能性】 講師 吉長成恭氏（広島国際大学教授）
18:30		ビジネス交流会（夕食）

【第1回】12月1日(木) <2日目>

時 間		日 程
8:30	10分	オリエンテーション
8:40	30分	レクチャー 【モデル素材「月待ちガニ」の基本的な概略】 候補（新宇部漁業共同組合）
9:10	80分	取材① グループごとにモデル素材に関する取材・情報収集 漁業関係者・ブランド化協力団体 等 取材協力先候補（新宇部漁業共同組合・宇部観光コンベンション協会）
10:30	10分	休憩
10:40	40分	特別講義 【首都圏で通用するローカル商材の条件】 講師 大坪素久氏（株紀ノ国屋商品部）
11:20	40分	レクチャー 【地域団体商標の活用について現場の声から学ぶ】 モデル事例「下関うに」地域団体商標登録事業者
12:00	60分	昼食
13:00	80分	グループワーク②【モデル素材を活かした商品開発】 ・資源の強み・弱み・課題・脅威（SWOT）の整理、可能性の分析
14:20	50分	第1回グループワークの中間発表 ・各班10分発表 ◇次回への助言 講師 中澤さかな氏
15:10	20分	グループ討議の中間発表
15:30		第1回プログラム終了 解散

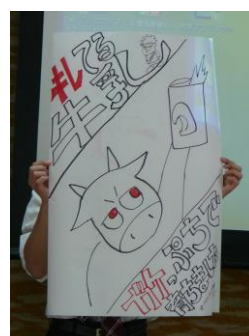


【第2回】12月7日(水) <1日目>

時間		日程
13:00		受付開始
13:30	10分	オリエンテーション
13:40	10分	【前回の講義レビュー】 ◇第1回のポイントを振り返る ◇第2回のポイント整理 講師 中澤さかな氏（山口県萩しーまーと）
13:50	60分	特別講義【地域産品開発・成功と失敗を分ける重要ポイント～事例から学ぶ】 講師 白田典子氏（有限会社良品工房）
14:50	10分	受講生との質問・意見交換 中澤さかな氏・白田典子氏
15:00	10分	休憩
15:10	60分	【リーダー直伝 実践マーケティング講座】② ・商品開発の手法と現場事例 講師 中澤さかな氏
16:10	100分	グループワーク③【モデル素材を活かした商品開発】 ・開発方針の策定 ・解消すべき阻害要因に対するの対処見通しの検討
17:50	40分	ブラッシュアップアドバイス ◇各グループプランへの助言 講師 中澤さかな氏
19:00		ビジネス交流会（夕食）

【第2回】12月8日(木) <2日目>

時間		日程
7:30～		朝食
8:30	10分	オリエンテーション
8:40	90分	【リーダー直伝 実践マーケティング講座】③ ・PR プロモーション手法と現場事例 講師 中澤さかな氏
10:10	110分	グループワーク④ 【モデル素材を活かした商品開発】 ・加工品、メニュー開発のプランとPR ツールの作成
12:00	60分	昼食
13:00	60分	グループワーク⑤ 【プランのまとめと発表準備】 ・発表・プレゼンテーション準備
14:00	60分	発表（プレゼンテーション）、講評 講師 中澤さかな氏、（候補：新宇部漁業共同組合、宇部観光コンベンション協会）
15:00	30分	閉講式 ・受講証授与 中国経済産業局
15:30		第2回プログラム終了 解散



昨年度の研修成果発表作品

研修参加者の声(H21・22 年度受講者アンケートより)

- 地域資源の掘り起こしの大事さを再認識した。
- 地域に対する思い、情熱が大切と改めて思った。
- 講師の実践型のブランディング・ノウハウを実務で活用したい。
- 商品開発に重要なプロセスや販路確保にはいつ頃から動くかなど具体的ですごくためになった。
- 行政・製造メーカー・支援団体が一緒になった研修は新しい発見があった！
- みんなで議論し、素晴らしいモノが出来上がるプロセスが非常に勉強になった。
- ファシリテーターを経験して、思いっきりテンパってまとめることの困難さを実感した。



研修のノウハウを活かし
地域食資源を使って作られた肉味噌
(道の駅笠岡バイファーム)

Q. 研修を受けるとどんな効果がありますか？

A. これまでの受講生の方たちは研修で学んだノウハウを実際の地域資源活用や商品開発の場で発揮しています。

例えば岡山県から受講された民間企業の担い手の方達は、昨年の研修をもとに地域の食資源活用、マーケティング、商品開発まで行われ、実際に商品の販売を開始されています。この他にも受講された方々は研修で得たネットワークや知識を現場で活用されています。

※お問い合わせ先：TEL 0852-55-8450 (株)シーズ総合政策研究所 (藤原啓)

参加お申込用紙 【FAX】0852 - 55 - 8497 【電子メール】 k-fujihara@csri.jp (藤原 宛)

会社(団体)名		連絡先	TEL
参加者のお名前			FAX
所属・職名			E-mail
特記事項			

<山口県セミナーパークまでのアクセス>



【交通のご案内】

●公共交通機関

JR山陽本線 新山口駅から約 10Km(タクシー約 15 分)

JR山陽本線 四辻駅から約 3Km(タクシー約 5分)

※セミナーパークへのバスの運行便はありません。

●自家用車

山陽自動車道 山口南 I.C.から車で約 5 分

中国自動車道 小郡 I.C.から車で約 20 分

山口セミナーパーク

〒754-0893

山口県山口市秋穂二島 1062

TEL : 083-987-1410

FAX : 083-987-1430

<http://www.hito21.jp/seminarpark/>

